

質問に対する回答書⑱  
東京外環自動車道 八潮パーキングエリア工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	図面 下部工設計図(29/138) PC1 橋脚 仮締切工図(その2)  図面 下部工設計図(110/138) PC-1 橋脚 仮締切工図	『埋戻し 流用土』の数量を計算にあたり、PC1 橋脚と PC-1 橋脚で考え方が異なっています。 PC1 橋脚及び PC-1 橋脚それぞれの算出方法を下記に示します。  PC1 橋脚:陸上 改良土 30.9m <sup>3</sup> , 水中 改良土 13.3m <sup>3</sup> に対し、埋戻し(流用土) = $30.9 \times 0.9 = 27.8\text{m}^3$ PC-1 橋脚:陸上 改良土 95.5m <sup>3</sup> , 水中 改良土 2.0m <sup>3</sup> に対し、埋戻し(流用土) = $(95.5 + 2.0) \times 0.9 = 87.8\text{m}^3$ というように、水中 改良土の扱いが異なります。 どちらの考えが正しいのでしょうか? ご教授ください。	設計図書に示すとおり、PC1橋脚における埋戻し(流用土)は27.8m <sup>3</sup> 、PC-1橋脚における埋戻し(流用土)は、87.8m <sup>3</sup> になります。 PC1橋脚における水中 改良土(13.3m <sup>3</sup> )ははねつけ処理を行い、PC-1橋脚における水中 改良土(2.0m <sup>3</sup> )は流用土として使用します。
2	図面 数量総括表(その2)図面 付替 市道設計図(18/23)	番号 107 コンクリート C2-1 の数量が、市道 1208 号において、『1.9m <sup>3</sup> 』と計上されています。 付替市道の図面を見ると、『コンクリート C2-1』の記述があるのは、立入防止柵の基礎コンクリートしかありませんが、よろしいのでしょうか? ご教授ください。	のり面工設計図 2/4および3/4に示す、ブロック積みの小口止めコンクリートです。
3	図面 数量総括表(その2)図面 付替 市道設計図(18/23)	もし上記の数量が、立入防止柵の基礎コンクリートとした場合、計算した数量と総括表の数値と合致しません。 設計図では、立入防止柵A延長L=24.3+92.9=117.2m、10m当りコンクリート数量 0.09m <sup>3</sup> 。これから、コンクリート C2-1 V=(0.09÷10m)×117.2m=1.05m <sup>3</sup> となりますが、数量総括表では、1.9m <sup>3</sup> と記述しています。数量の確認のほどよろしく願います	数量総括表に記載の1.9m <sup>3</sup> については番号2の回答のとおりです。 なお、立入防止柵Aの基礎コンクリートについては、立入防止柵Aの項目に含まれています。
4	図面 数量総括表(その2)	番号 110 型枠C ランプ部の数量が、5646.8m <sup>2</sup> と記述されています。 コンサル数量計算書(連絡等詳細 擁壁工数量計算書)P1-6-73 において、型枠Cの数量合計は、『5647.2 m <sup>2</sup> 』と記述されており、総括表の数量と合致しません。数量の確認をお願いします。	数量計算書は参考資料であり、型枠Cの数量は設計図書に示すとおり 5646.8m <sup>2</sup> です。
5	図面 軟弱地盤対策工設計図	軟弱地盤対策工設計図において、横断図はあるのですが、横断位置のわかる平面図がありません。 横断位置のわかる平面図を提示してください。	連絡等施設設計図 24/93 に示す、連絡等施設 横断軸線図を参考にしてください。
6	特記仕様書 26-4 道路掘削 図面 軟弱地盤対策工設計図 (3/50)	道路掘削Aにおいて、特記では、『軟弱地盤対策工を施工するため、掘削、積込み、路体への運搬、敷均し、締固め』と記述されています。ただし、横断図の数量表(面積表)では、盛土工 C の記述はありますが、路体の記述はありません。特記で述べている『路体』とは何を指しているのでしょうか? ご教授ください。	真空圧密工法 ①～⑨工区の断面図に示すとおり、上部路床及び下部路床については上部路体仕上げとするため、特記仕様書26-4 道路掘削Aに記載の『路体』とは、軟弱地盤対策工設計図に記載の盛土すべてを指しております。
7	数量総括表(その1) 道路掘削A	道路掘削Aにおいて、軟弱地盤対策工として、『88,714.6m <sup>3</sup> 』計上しています。 その数量内訳(コンサル資料)では、軟弱地盤対策工の土量計算書から算出された『掘削数量 38,697.5m <sup>3</sup> 』、『調整池控除土量 29,992.7m <sup>3</sup> 』、『仮調整池(道路掘削A)20,024.4m <sup>3</sup> 』の合計で構成されています。 調整池控除土量及び仮調整池土量は、掘削後の運搬先が不明ですので提示してください。	調整池控除土量及び仮調整池土量については、パーキングエリア本体における盛土材としての使用を想定しております。 なお、土配計画については、貴社の施工計画に基づきお考えください。

8	数量総括表(その1) 盛土工C	<p>盛土工Cにおいて、軟弱地盤対策工として、『432,785.1m3』を計上しています。コンサル資料によると、上記の数量内訳は、以下に示す通りです。(数量は、盛土数量を示す)【盛土量の算出】</p> <p>①軟弱地盤対策工 土量計算書 残盛土数量 476,786.2m3  ②道路掘削A(②BL 仮設調整池)⇒⑤工区転用 -8,612.1m3(地山:9,899.0m3)  ③道路掘削A(調整池構築分)⇒⑧-3 工区転用 -10,227.1m3(③+④の計)  ④道路掘削A(調整池構築分)⇒⑧-1,2 工区転用 -15,866.5m3 地山:29,992.7m3)  ⑤道路掘削C2(1216号撤去後⇒⑧工区転用) -40.1m3(地山:46.1)  ⑥載荷盛土取除A(載荷盛土④⇒8 工区転用) -6,377.1m3(地山:7,330m3)  ⑦載荷盛土取除A(載荷盛土⑨⇒8 工区転用) -16,932.3m3(地山:19,462.4m3)  ⑧載荷盛土取除A(載荷盛土②③⇒8 工区転用) -6,700.7m3(地山:7,701.9m3) 合計 412,030.3m3【仮調整池埋戻し】</p> <p>①盛土工C ①BL 仮設調整池埋戻し 8,621.4m3(地山:9,909.7m3)  ②盛土工C ②BL 仮設調整池埋戻し 9,899.0m3(地山:11,378.2m3)  ③盛土工C 試験施工仮設調整池埋戻し 2,234.3m3(地山:2,568.2m3) 合計 20,754.7m3 盛土工C=412,030.3+20,754.7=432,785.0m3 としています。</p> <p>【盛土量の算出】において、『②道路掘削A(仮設調整池) 8612.1m3』としていますが、道路掘削Aの数量内訳では、『仮調整池(道路掘削A) 20,024.4m3』としており、数量に差異が生じていますので、数量の確認のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>道路掘削A(仮設調整池)には、割掛対象表参考内訳書【参考図】に示す仮設調整池4だけではなく、仮設調整池2および仮設調整池3の数量分を計上しているのに対して、盛土工Cの盛土量の算出においては、仮設調整池2および仮設調整池3の掘削土は仮設調整池1の埋戻し土としての使用を想定しているため、軟弱地盤対策工盛土からの減算はしておりません。従いまして、道路掘削Aの数量は設計図書に示すとおりです。なお、土配計画については、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
9	数量総括表(その1) 盛土工C	<p>上記の盛土工C(コンサル数量)の【仮調整池埋戻し】において、『⑦BL 仮調整池埋戻し 7,663.9m3』の記述がありませんがよろしいのでしょうか。ご確認のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>番号8の回答のとおり、仮設調整池1(⑦工区の仮設調整池)を埋戻す作業については、道路掘削Aで計上しています。なお、土配計画については、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
10	図面 PA-D_A2 橋台 仮締切工 (64/138)	<p>材料表『構造物掘削 特殊部 土砂Ⅱ(水中) 67.9m3』と記述されています。コンサル資料によると、『特殊部 土砂Ⅰ(水中) 37.2m3(残土処分)、土砂Ⅱ(水中) 30.7m3(残土処分)』に分けられております。図面とコンサル資料で、数量の差異が見られます。確認のほど、よろしくお願いいたします</p>	<p>数量計算書は参考資料であり、残土処分を行う掘削残土の区分は設計図書に示すとおり土砂Ⅱです。</p>
11	図面 PA-D_A2 橋台 仮締切工 (64/138)	<p>材料表『埋戻し 流用土 307.7m3』と記述されています。ただし、コンサル資料では、『341.9m3』と記述されておりますので、確認のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。</p>
12	4/12(金)の「質問に対する回答書⑥」番号7について	<p>4/12の回答では、『残土土量については、施工箇所周辺に仮置きをする。』と回答されておりました。PA-A_A1 橋台のように、埋戻し後の残土数量が、130m3 となる場合でも、施工箇所に仮置きするのでしょうか？確認のほどよろしくお願いいたします。</p>	<p>施工箇所周辺に仮置きするものとお考えください。</p>
13	4/12(金)の「質問に対する回答書⑨」番号3について	<p>「様式-提案2に加え、A4版1頁(片面)に記載して提出することを認めます。」との記載に関し、追加提出する書式の欄外左上肩部にはどのような様式名を記載すればよろしいでしょうか。「様式-提案2(別紙)」でよろしいでしょうか。また、この別紙にも、「評価項目①軟弱地盤対策(真空圧密工法)の真空圧載荷期間※1における、モニタリング方法および管理体制について※1 真空圧載荷期間とは、工事工程表(概略工程表)に示す期間をいう。」の記載は必要でしょうか。ご教示ください。</p>	<p>追加提出する書式の欄外左上肩部への様式名の記載は不要です。また、この別紙への「評価項目①軟弱地盤対策(真空圧密工法)の真空圧載荷期間※1における、モニタリング方法および管理体制について※1 真空圧載荷期間とは、工事工程表(概略工程表)に示す期間をいう。」の記載は不要です。</p>